

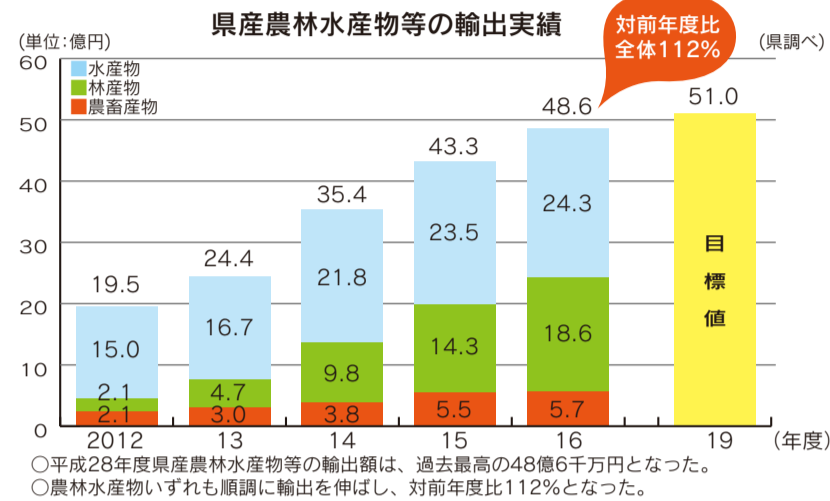
農林水産業

競争力ある農林水産業の実現

県では、「競争力ある農林水産業の実現」を目指し、品質や商品力向上、安定した生産量の確保、コスト削減などに取り組んでいます。さらに海外を含む多様な流通ルート構築による熊本ブランドの定着に向けての動きを進めています。

農林水産物などの輸出実績が過去最高を更新

全国をはじめ海外の市場開拓にも積極的に取り組んでいます。平成28年には熊本地震や鳥インフルエンザの発生など多くの困難に直面しましたが、輸出額が過去最高を更新するなど、堅調に増加しています。



農業

「くまさんの輝き」先行販売開始

県が開発したお米の新品種「くまさんの輝き」の平成30年の本格デビューに向け、先行販売が始まります。統一ロゴ、パッケージなどにより認知度向上を図ります。



創造的復興に向けた新技術の導入

被災した西原村の牛舎の再建に、新技術を活用した搾乳ロボットを導入し生産性の向上を目指します。



水産業

海外への輸出促進

近年の日本食ブームにより北米やアジアなどに向けて養殖魚を中心に、天然魚や水産加工品の輸出促進に取り組んでいます。



林業

東京オリ・パラ選手村に県産材が活用

県産森林認証材が、東京オリ・パラ組織委員会が実施する選手村ピレージプラザの建設プロジェクトに活用されます。



※上記イメージは計画途中のもので、今後変更の可能性があります

中山間地域農業支援プロジェクト

生産条件が不利な中山間地域農業の振興に向け、プロジェクトチームを設置し、新たなチャレンジへの支援を開始しました。この取り組みの一環として、モデル地区を設定し、地域農業振興ビジョンの策定や農業所得の確保に向けた新たな作物の導入などを支援します。

モデル地区の一つ 八代市鶴喰地区での取り組み

「未来のために今できること」をキャッチフレーズに、自分たちで集落を守り、米作りをはじめ、アスパラガスやにんにくなどの高単価作物による収益向上に取り組んでいます。



地域で力を合わせ大切に育てた鶴喰米の収穫

地域産業の創造

特集

次代を担う力強い

農林水産業と
商工観光業で
熊本を支えるモン!

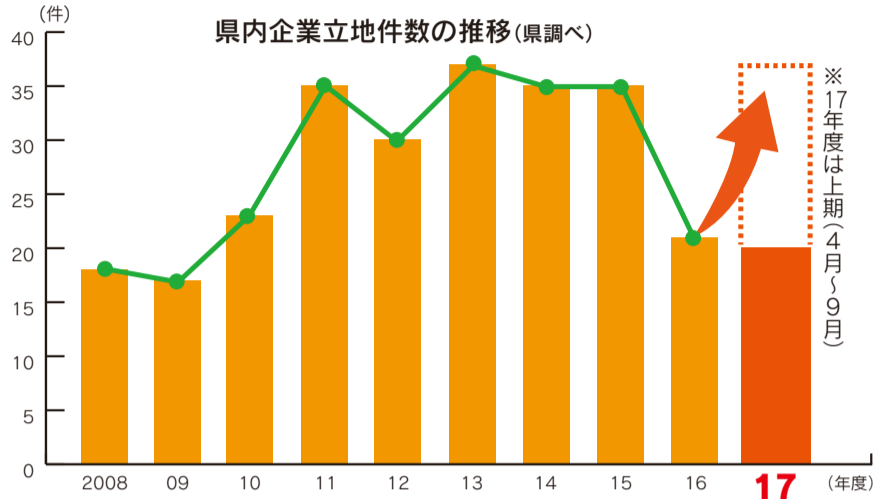


©2010熊本県くまモン

商工・観光業

県経済を支える企業の再生・発展

地震により多くの企業が被災し、県経済に大きな打撃を与えました。県では、被災企業の経営再建や産業技術の高度化、県の強みを生かした企業誘致の推進など、県経済を支える企業の再生や力強い発展に向けた取り組みを進めています。



企業誘致件数は熊本地震前まで回復

平成29年度上半期の企業誘致件数は20件で、好調だった熊本地震前とほぼ同水準まで回復しました。下半期においても、設備の増強を中心に投資が進んでおり、その回復傾向はより鮮明になっています。

知事トップセミナーの開催

知事が、自動車産業の一大集積地である東海地方で、熊本地震からの創造的復興や熊本への企業進出のメリット、魅力についてPRすることにより、熊本への企業誘致を進めています。



熊本県自動車関連企業立地セミナー2017 in名古屋の開催

県内企業と高校・大学などの情報交換会を開催

企業の人材確保が厳しくなるなか、県内企業の魅力をPRする情報交換会を開催しました。企業側は、国内外の優良顧客との取引実績や若手社員の活躍事例を紹介し、新卒者の県内就職につながるよう熱心にアピールしました。



大学側と企業側の情報交換の様子

中小企業等グループの施設復旧

熊本地震により被災した企業を支援するグループ補助金は、11月30日現在で約5,100件、約1,400億円の支援を行いました。今後も被災企業の復旧・復興の加速化を図っていきます。

観光業の復興に向けて

阿蘇の観光復興は、重要な課題のひとつ。「阿蘇火山博物館」では、グループ補助金を活用して施設を復旧し、今年10月グランドオープンしました。修学旅行生向け震災学習プログラムなど、新しい取り組みも行い、復興に向けて着実に進んでいます。



阿蘇火山博物館で地震の教訓を学ぶ教育旅行の生徒

阿蘇へのアクセス道路も着実に復旧しています。自然の美しさや偉大さ、怖さなどが体感できる「今の阿蘇」へぜひお越しください。



阿蘇火山博物館 館長 池辺伸一郎さん